

はくぶつかんネット

第15号

～ GINOWAN MUSEUM ～

♥ 第3期 わらばー体験じゅくの様子 ♥



▲ 土器づくり (博物館)



▲ ターナム収穫 (大山)

◎平成15年度 わらばー体験じゅく◎

第4期 わらばー体験じゅく はじまるよ～!

期間:2003年6月 ～ 2004年2月 (全9回)

募集×切:2003年 6月1日(日) 午後5時まで

◎参加する本人が、直接博物館まで提出すること!



博物館 イメージキャラクター

天女ちゃんと察度くん

今年度でわらばー体験じゅくも早いもので4年目を迎え、第1期の6年生のメンバーは中学3年生になり、小学2年生は5年生になり(当たり前だが)、だんだん市内の子どもたちにも定着しつつあるような、ないような…。とにかく年々応募者も増えてきてさらに活気が出てきたわらばー体験じゅく、今年度も熱い期待に応えて来月の6月に開校します。まだ知らないキミに説明すると、「わらばー体験じゅく」とは、学校や家庭ではできない体験を1年間を通して行うもので、身近にある歴史や文化、自然などを体験しながら学んでいきます。豆腐づくり、宜野湾めぐり、土器づくりなどいろいろな体験があり、大変なところもありますがとても楽しい体験がいっぱいです。また市内の小学校からメンバーが集まってくるので新しい出会いも待っていますよ。

そこで今回も市内在住の小学5、6年生を対象に「第4期わらばー体験じゅく」のメンバーを募集します。「いろいろな体験をしたい!」「楽しそうだ、がんばるぞ!」「豆腐と沖縄そば食べた〜い」と思ったキミ!、申込用紙に記入して博物館まで急げ〜!

◇日 時 2003年6月 ～ 2004年2月までの第3土曜日
(※日時は内容によって多少変更になります。)

◇対象者 宜野湾市内在住の小学5、6年生

◇定 員 40名

◇参加費用 保険料 毎月100円

材料費は必要な場合に徴収 (10月の宿泊体験の食費: 1,300円)

◇申込方法 申込用紙に記入し、参加する本人が博物館まで提出してください。

[募集×切日: 2003年 6月1日(日) 午後5時まで]

※応募者多数の場合、各学校・男女のバランスを考え、そのうえで抽選により選びます。

平成14年度 企画展

『なつかしの宜野湾～宜野湾・沖縄の風景～』の報告



▲ 懐かしい雰囲気の会場

平成14年度最後の事業として、「なつかしの宜野湾 ～宜野湾、沖縄の風景～」と題し、3月8日(土)～4月6日(日)の間に企画展を開催しました。今回の展示は、沖縄が戦後の焼け跡から立ち上がり、次第に暮らしが豊かになってきた時代、昭和30年代から40年代を中心にその当時の生活と密着していながら今では全く忘れ去られた、また意識されていない生活用品、町並み、風景などを展示、紹介しました。

昭和30年頃から普及し始めた電化製品、特にテレビ、洗濯機、冷蔵庫は「三種の神器」と呼ばれ、人々の暮らしを一変させました。

また今ではほとんど見られなくなった一銭まちや、当時最大の娯楽であった映画、B円からドル、そして円と変わってきたお金、当時の町並みや風景の写真、おもちゃなど、思わず「なつかしい」という言葉が出る展示会となりました。期間中は多くの来館者が訪れ、展示を見ながら昔を懐かしんだり、親が子どもに昔について語るといった姿が見られました。「自分たちが過ごしてきた日々を思い出し心が和みました。」(60代女性)、「とても懐かしいものを子ども達にも見せることができ嬉しく思いました。」(30代女性)、「豊ではなかったが、何故か幸福だったあの頃が思い出され感激しました。」(40代男性)、といった声が聞かれ、来館者にも大変好評でした。

急速に時代は変化し、現在では情報化、インターネット社会が到来し、昔は想像もできなかった時代が訪れています。時代は速いスピードで変化し、現れてはすぐに消えていくものに埋め尽くされ、本当に意識していないとあっというまに忘れてしまうものです。暮らしも豊かになり、便利な時代になりましたが、新しいものが全て良いというわけではなく、一度古い物についても考えるべきではないでしょうか。50年後、いや30年後に企画展「なつかしの宜野湾」が開催された時は、果たしてどのようなものが展示されているのやら。

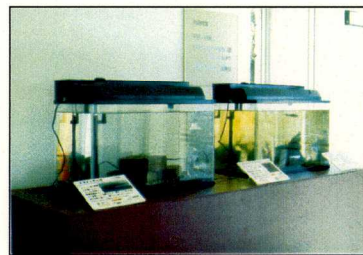
館内のご案内

博物館ロビー案内

博物館のロビーには、今月の年中行事のごちそう(複製品)や、大山のターンム畑に生息している生きもの(実物)、真志喜のトロピカルビーチ付近に生息している海の生きもの(実物)などを展示しています。これらは博物館でこれまでに行った企画展のほんの一部を紹介したもので、小さな小さな展示ですが、見学者にちょっとした人気があります。

今はあまり行われなくなった行事も多いのですが、年中行事のごちそうは、沖縄の長寿食にも通じる伝統的な食なので、食文化を見直す上でも参考になると思います。ターンム畑の生きものは、日本最大種のホシマダラハゼや、コンジテンナガエビです。2種とも夜行性なので昼間はじっとしています。近々、リュウキュウメダカもその仲間に加わる予定です。メダカは30年前は大山のターンム畑にも普通に生息していたようですが、環境の変化や移入種のカダヤシなどが原因で減少し、残念ながら市内では見られなくなりました。海の生きものは、きれいな熱帯魚と変わった姿のスナホリガニです。また市の年中行事や、海の生きものを紹介したパンフレットも置いています。

博物館を見学に来たついでに、ロビーの展示もご覧になってみてはいかがでしょうか。きっと興味深い発見があると思いますよ。



▲ ロビーの水槽

常設展示室のご案内

◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：2003年 6月4日～9月1日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えを予定しています。
今回は19区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方と、小学生の顔写真を展示します。
この展示は6月4日(水)からの予定です。

『宜野湾人の顔』は現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示がある
エントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による
人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を
を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

次回は、大山区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要
となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ 安座間原人

★たくさんの寄贈、ありがとうございました★

前年度後半(2002年 10月1日 ~ 2003年 3月31日)に寄贈された方々のお名前と寄贈品の
内容です。

寄贈された皆さん、たくさんの貴重な資料をありがとうございました。これらの資料は、今後の博物館
事業等に役立てながら、大切に保管していきます。

[敬称省略・寄贈を受けた順序]

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ・第十一管区海上保安部：日本南方海域2点—他4点 | ・伊佐 實雄(大山)：ティール1点—他3点 |
| ・宮城 芳枝(大謝名)：ハカイ1点—他10点 | ・仲里 稔(真栄原)：ミージョーキー1点—他10点 |
| ・比嘉 文子(真志喜)：そろばん1点—他9点 | ・翁長 良明(那覇市)：米軍基地関係資料1点—他23点 |
| ・玉城 秀子(志真志)：ソーキ1点—他1点 | ・宮城 諭(真志喜)：重箱2点—他79点 |
| ・仲里 真義(我如古)：バッヂ2点 | ・喜舎場 眞盛(宇地泊)：脱穀機1点 |
| ・島田 政朝(野嵩)：レコード1点 | ・島崎 眞由美(真志喜)：オキコラーメン3点 |
| ・喜屋武 菊(新城)：ジッポオイル1点 | ・仲原 賢次(野嵩)：海洋博記念パズル1点 |
| ・稲福 繁樹(普天間)：五十音表7点 | ・真喜志 康德(南風原町)：ピン9点 |
| ・古波蔵 惟好(新城)：レコードプレーヤー1点 | ・賀数 清(喜友名)：日本渡航証明書1点—他5点 |

～みなさま、ご協力ありがとうございました～

今回寄贈していただいた資料は、2003年11月開催予定の「第4回新収蔵品展」にて、
展示させていただきます。

◆◆ ひきつづき、資料の収集もおこなっております。これは！と思うものを、お持ちの方、
博物館までご連絡ください。職員がすぐにお伺い致します。◆◆

★ちくおんき

平成14年度企画展「なつかしの宜野湾～宜野湾、沖縄の風景」開催に伴い、展示資料として蓄音機を購入しました。今回購入したのは大正時代の卓上型蓄音機で、手動でゼンマイを回し、その戻る力を利用してレコードを回します。蓄音機は高価なものだったため一般の人達にはあまり普及していませんでしたが、昔の娯楽として人々の暮らしの中に存在した貴重な資料です。

蓄音機用のSPレコードは、落とすと簡単に割れてしまうので石盤とも呼ばれ、戦前、戦後を通して数多く作られました。しかしこのSPレコードは蓄音機でしか聴くことができません。博物館の収蔵品にも沖縄民謡を中心にSPレコードがあり、今回蓄音機を購入することで聴くことができるようになりました。蓄音機から流れ出てくるノイズの入った音は独特の味があり、なつかしさを感じさせてくれます。戦前の唄者の唄い方や歌劇などレコードを聴くことでさらにその資料価値が高まり、貴重な資料となりました。



▲ 蓄音器

そこで、一般市民の方々の中にも昔に買ったSPレコードを今でも持っているが残念ながら蓄音機がなくて聴くことができないという方が多分いらっしゃると思います。博物館では蓄音機を使って、来館者の方々が持参されたSPレコードを聴けるようにしたいと思います。「このレコードはどんな曲だったかな～」、「もう一度あの曲を聴いてみたい。」という方は、ぜひ博物館までいらしてください。

★語り継がれる “年中行事”

沖縄県には様々な年中行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習があります。今回は7月に行われる行事の中から、旧6月15日に行われる行事を紹介したいと思います。

☆旧6月15日：ルクグワチウマチー・ルクグワチチナヒチく 六月御祭・綱引き^{みき}



▲ 大山綱引きの模様

稲の収穫を感謝する行事です。米のウンサク(神酒)を作り、部落内の拝所を、神女を中心として拝んで廻っていました。今では神女がほとんどいないので、部落の自治会長らが拝み廻るぐらいのようです。

この日は綱引きをする部落が多かったようですが、現在も毎年綱引きが行われているのは、大山・真志喜の2ヶ所です。野嵩は平成3年からチナヒチモーイ(前座の踊り)が復活されています。

戦前までは、どの地域も稲作があったので、各戸から藁を徴収して綱を作りました。勝負によって、年占いをする重要な意味を持っていたので、大変盛り上がったそうです。

以上のような行事の他にも、様々な行事が市内でも行われていますが、今では行われていない行事もあるかと思われます。そのような行事も後世まで伝えていければと思いますので、ここに紹介した行事以外にも、「あのときはこんな行事があつて、こんなだったよ。」等のお話がある方、ぜひ一度博物館までご連絡ください。

◎入館料免除・資料館外貸出の申請について

○申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。
申請書の手続はそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に記入のうえ、
入館・貸出を希望する日の**1週間前**までに申請してください。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。

■主な貸出資料

○収蔵品 ○ビデオ ○写真



‘はくぶつかんネット’が新しく なりました

今回の号(15号)より、「はくぶつかんネット」は2ヶ月に1回の発行が、3ヶ月に1回の発行になります。そのかわり、ページ数が2ページ増えて6ページになりました。
これからも、「はくぶつかんネット」をよろしくお願いします。

★「第3期 わらばー体験じゅく」の報告書を発行しました

平成14年度の「第3期 わらばー体験じゅく」の報告書を発行しました。平成14年6月から平成15年2月までの体験じゅくの全9回の内容と、各体験の解説を掲載してあります。平成12年度の「第1期 わらばー体験じゅく」の報告書の在庫もあります。報告書が欲しい方は市立博物館まで、お問い合わせください。

～ 市立博物館のロビーにて、証明書の交付を行っています ～

住民票と印鑑証明について、市立博物館のロビーに設置された交付の窓口にて申請を行えば、発行されるという仕組みです。

★注意事項

1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。

※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日も、くん蒸などの臨時休館日は、休みです。

2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。

平成15年度の事業あんない

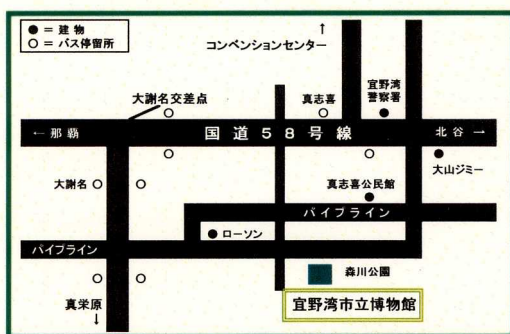
2003年4月～2004年3月

月	日	曜日	内 容	期 間
5			第4期 わらば一体験じゅく メンバー募集	6月1日(日) 午後5時まで
6	21	土	第4期 わらば一体験じゅく 開校式 ○対象は市内在住の小学5・6年生 / 毎月第3土曜日の午後 (全9回)	来年2月まで
7			平成15年度 第1回講演会 「野草を食べよう(予定)」	
9	中旬		平成15年度 市内小中学生 文化財図画作品展	展示期間は約1週間
10			平成15年度 第2回講演会 「市内の洞窟めぐり(予定)」	
11			第4回 新収蔵品展	
1		土か日	平成15年度 第3回講演会 「未定」	
2	下旬	土	企画展「宜野湾市の娯楽(仮名)」 ○期間内に、講演会・講習会などのイベント開催を予定しております	3月末まで

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>city.ginowan.okinawa.jp/
home.nsf

◎ 開館日 ・ 時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで



◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝日にあたる場合は翌水曜日は休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から